

日本学生支援機構大学院在学採用申請希望者 各位

この4月に標準年限内で在籍している大学院学生向け
(この4月に大学院に進学・入学した方も含みます)

東京工業大学 学生支援課

日本学生支援機構奨学金大学院在学採用の申込みについて

大学院学生で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する方は、下記の手順により申込みしてください。

申込みの際は、期間内にインターネット上でフォームの入力をして、必要書類を提出する必要があります。
奨学金案内「奨学金を希望する皆さんへ」をよく読んで申請して下さい。

申請が不完全な場合、推薦を受けられません。また、提出先はキャンパスにより異なりますのでご注意ください。

1. 奨学金の種類及び貸与月額等について

	貸与月額 (第一種【無利子】)	貸与月額 (第二種【有利子】)	貸与始期	収入基準額 (第一種)	収入基準額 (第二種)	収入基準額 (併用)
修士	5万円, 8.8万円 から選択	5万円, 8万円, 10万円, 13万円,	2022年4月 (※)第二種は 2022年4月～ 2022年9月の希望月	299万円以下	536万円以下	284万円以下
博士	8万円, 12.2万円 から選択	15万円 から選択		340万円以下	718万円以下	299万円以下

2. 申込期間等(①→②, ③の順にお手続きください。②と③は順不同です。)

全ての手続を完了しなければ、推薦されません。それぞれ締切が異なるので注意してください

①本学 Web フォーム 入力期間	2022年4月1日(金)～4月15日(金) 16:59【厳守】 ⇒ https://forms.gle/s8msCwRqcKouQWzc6 ※本申請用と異なるフォームに入力した場合は無効です
②スカラネット入力期間	①の手続完了日～2022年4月18日(月)【厳守】 ①の手続完了後に自動送信メールでURL等案内があります
③書類受付期間	<窓口へ直接提出> ①の手続完了日～2022年4月19日(火) 17:00【厳守】 <郵送による提出> ①の手続完了日～2022年4月19日(火) 17:00【必着】料金不足無効

※申請期間を過ぎた入力(提出)は、一切受理いたしません
※郵送で提出する場合は「JASSO 大学院貸与奨学金申請書類在中」と朱書き、
差出人名及び学籍番号を必ず明記の上、レターパックライト等、追跡可能な方法で郵送してください。
※上記方法以外の発送で起きた配達事故等による提出期限超過及び不達は一切受付しません。

<書類提出先>

研究室・指導教員が大岡山又は田町キャンパスの方

大岡山キャンパス : 〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-TP102
東京工業大学学務部学生支援課経済支援グループ (Taki Plaza1 階)

研究室・指導教員がすずかけ台キャンパスの方

すずかけ台キャンパス : 〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259-J1-1
東京工業大学学務部学生支援課すずかけ台学生支援グループ (J1 棟 1 階)

問合せ先	奨学金事務担当窓口 https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/jasso/contact 奨学金制度や手続きに関する一般的な照会は、JASSO 奨学金相談センター 0570-666-301 (平日 9:00～20:00) にお問い合わせください。 ※繋がりがづらい場合は https://www.shogakukinsupport.jp/ をご利用ください。
------	---

☆ 奨学金を受けるにあたって必要な書類や手続等についての説明が動画でご覧いただけます。

→ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/movie.html>

☆ 奨学金の申込み前に、「奨学金貸与・返還シミュレーション」で貸与の総額や将来の返還額を試算することができます。

→ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/simulation.html>☆ 奨学金関連の東工大ホームページ → <https://www.titech.ac.jp/students/tuition>

裏面に続く

3. 入学時特別増額貸与奨学金について(奨学金案内「奨学金を希望する皆さんへ」6, 25 ページ参照)

経済的に特に修学困難な学生を対象とした「入学時特別増額貸与奨学金(有利子, 10 万円, 20 万円, 30 万円, 40 万円, 50 万円)」制度があります。利用できる方は①「収入金額が 120 万円以下の方」及び②「①以外の方で日本政策金融公庫の『国の教育ローン』に事前に申し込みを行い、利用できなかった方」です。必要なお手続きは選考結果通知時に対象の方へご案内します。

4. 人的保証制度, 機関保証制度について(奨学金案内 17~21 ページ参照)

人的保証制度を選択する場合は、連帯保証人(原則, 父母のどちらか), 保証人(原則, 父母を除く四親等以内で貸与終了時に 65 歳未満の人)を選ぶ必要があります。**必ず、申請前に連帯保証人及び保証人から、採用後の手続きも含めて承諾を得てから、人的保証を選択してください。**奨学生採用後、返還誓約書の提出が必要です。これに伴い連帯保証人並びに保証人の署名, 実印の押印及び印鑑登録証明書(スカラネット入力日から3ヶ月前以降に発行のもの)の提出が必要となります。**事前に承諾を得られない場合は、人的保証を選択できません(保証人を立てられない場合は機関保証を選択してください)。**

5. 特に優れた業績による返還免除制度について(奨学金案内 13 ページ参照)

大学院で第一種奨学金の貸与を受ける学生を対象とした制度です。採用後ご案内又は本学ホームページをご覧ください。 <https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/jasso/repayment>

6. 提出書類 赤字の様式は、次行のリンクから入手して作成すること。書類の順番は番号順に揃えること。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/jasso/selection>

油性ボールペン(黒又は青)で記入すること。消えるボールペンで記入した場合は選考対象外となる場合があります。

全員提出	1	本学 Web フォームからの自動返信メール(受付票)	A4 で印刷すること(複数ページになる場合は両面印刷(長辺綴じ)) 大学院在学採用のフォームと異なるもの場合は無効
	2	確認書兼個人情報取扱に関する同意書	3~4 ページ目を, A4 両面印刷で作成すること(他のページは提出しないこと)。 住所は現住所を記入してください。
	3	収入計算書	収入証明については「奨学金を希望する皆さんへ」27 ページを参照し, 収入項目に対応した収入に関する証明書をそれぞれ添付してください。 ※ 定職のある配偶者 の収入に関する証明書は, 次に従い添付してください 配偶者が給与収入のみ...2021 年分源泉徴収票の写し 配偶者が給与収入以外の収入がある...2021 年分確定申告書の写し ※ 給与が手渡し等で, 給与明細等を徴取できない場合は, 上記 URL から, 給与支払(見込)証明書を入手し, 雇用先に証明を依頼してください。 ※アルバイトを退職済, 新型コロナウイルスの影響で事務所が閉鎖等, 証明書を徴取できないやむを得ない事情がある場合は, 上記 URL から申立書を入手して作成してください。ただし, 申込時点で在職している場合は必ず証明書が必要です。
	4	収入に関する証明書	
	5	指導教員推薦所見	・申請者本人が直接指導教員に依頼してください。 ・押印は不要です(署名は必須です) ・先生から直接提出先に送付されても差支えありません。ただし, その調整は申請者本人が行い, 先生から送付する旨, 提出先にメールしてください。 ・週 21 時間以上のアルバイト等をする場合, 研究に支障のない旨を必ず明記してもらってください。
	6	学業成績証明書 ※コピー可	修士1年 ... 学部最終時のもの(高専専攻科修了者は本科と専攻科の分) 博士1年 ... 修士最終時のもの 修士2年, 博士2年以上...前年度後期までのもの ※編入の場合は編入前学校のものも併せてご提出ください ※東工大発行となる成績証明書は提出を省略できます
該当者のみ	7	1) 入学時特別増額貸与奨学金を希望する方で, 別紙「収入計算書」の「収入見込額合計」が 120 万円を超える場合は, 必ず事前に日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込んだうえで窓口へ申し出てください。 2) 「地方創成枠」として推薦された方は決定通知をご提出ください。 3) 申込資格のある在留者の方(永住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等・定住者のうち永住意思のある方)は在留カードのコピーを提出してください	

7. 結果通知及び採用書類交付(奨学金案内 31~32 ページ参照)

奨学生として採用された場合は, **6月10日(金)が初回振込日**(4~6 月分まとめて振込)となりますので振込先口座をご確認ください(今後新型コロナウイルス感染拡大の動向により初回振込日が 7 月 11 日(月)にずれ込む場合があることをご了承ください)。その後, 学生支援課から申請結果及び, **採用者には次の手続きで必要な返還誓約書・マイナンバーの提出に関する案内や奨学生証等の交付についてメールにてご案内いたします。**

なお, 学生支援課からの連絡は, 東工大の共通メールシステムのアドレス(ドメインが m.titech.ac.jp のもの)に送りますので, 必ず確認してください。

次の 2 枚はここまでの申請要領内容の大まかな解説です

申請要領大まかな解説 (詳しくは申請要領と奨学金案内を熟読してください!)

申請方法

①

① Webフォーム入力
& ID・PW取得



Webフォーム入力

②・③

② スカラネット入力
& ③ 書類提出



スカラネット入力

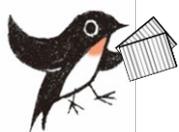


書類提出

※②と③は順不同 (指定された方法で指定された期限内に完了すれば OK です)

※①～③を期間内にすべて完了しないと推薦はできません。

③の提出書類について



収入

学業

● Web フォームからの返信メール

● 確認書兼個人信用情報の取り扱いに関する同意書

● 収入計算書

● 収入に関する証明書

● 指導教員推薦所見

● 学業成績証明書

● その他 (該当者のみ)

①が完了しているか確認のため

貸与を受けるために重要な書類

記入例をよく見て作成 (スカラネット入力内容とも関連)

- 収入計算書に書いた金額を証明するための書類。
- 結婚している方で、配偶者が定職についている場合は配偶者の分も必要。
- 父母等の給付額の証明は、収入計算書裏面に証明欄を使ってください。

ここは申請要領を確認してください

収入計算書に書く収入額

家庭の収入が審査される学士課程の学生と違い、大学院課程の学生は「自身の収入」が審査されます。

(※) 父母等からの仕送りや授業料等の支払いも「収入」としてカウントされます。

(※) 「自宅通学だから生活費はかかってない」と思っているも、実際にはそれは誰かが支払ってくれているものです。ここではそれらは全て「父母等からの給付額」に含まれます。

自宅通学の場合の生活費 (食費・住居費・光熱費等) については、世帯全体の年間経費を家族数で割ったものを、父母等から本人への年間給付額とみなしてください。

収入はこのようなものが該当計上した各項目について証明書類の提出が必要です!



「父母等から払ってもらっている授業料・家賃・光熱費」も「父母等からの仕送り」もすべて、「父母等からの給付額」としてカウントします

収入額にカウントするもの

(他にもあります。詳しくは収入計算書と奨学金案内を熟読してください)

父母等からの給付額

父母等から支払ってもらっている授業料・家賃・光熱費

父母等からの仕送り

自分のアルバイト代 (定職についている場合はその収入)

結婚している方は配偶者の収入 (定職に就いている場合)

既に獲得している奨学金

預貯金からの取崩し

収入計算書の内容を証明する書類



収入計算書の内容が正しいかチェックをします

収入計算書に計上した各項目について、金額を証明する書類が必要です。

ポイントは「いつからいつまで、どんな額の収入を得ていたかがわかるもの」です。ケースバイケースの指定が細かいので詳しくは奨学金案内や記入例を熟読してください。

例えば、「途中で退職したから去年はアルバイト代の収入あったけど今年はアルバイト代がゼロ」の場合は、「去年のアルバイト代の証明書類」の他に「退職したことがわかる書類」も必要になります（退職のタイミングによっては昨年分の源泉徴収票に退職日が書かれている場合もあります。その場合は源泉徴収票の提出のみで差し支えません）。

また、去年の収入で学士課程の JASSO 給付奨学金を計上する場合、各期間の金額がわかるようスカラネットパーソナルのコピーを証明書類として提出してください（期間によって金額が異なる場合、奨学生証のみだと金額の算出ができません）。

アルバイト収入が「前年額」と「本年額」が変わる見込みのある場合の「本年分の証明書類」について

年末までの「見込み額」はどう証明する？
職場からも見込み額の証明書を出してもらえない場合は？



収入計算書記入例に書いてあるとおり、
直近までの収入額を示す書類を提出し、計算書裏側に推算を書いてください。
詳しい書き方については「計算書記入例」をご覧ください。

人的保証/機関保証について

申請時に選択した保証制度は原則変更できません。

人的保証を選ぶ場合は特に注意が必要です。

選任条件に合った連帯保証人と保証人を選ぶ必要があり、奨学生採用後にはその方の署名・実印の押印・印鑑登録証明書の提出が必要です。人的保証を選択する場合、このことを連帯保証人・保証人になってもらう方に必ず確認しましょう。

機関保証は保証機関（協会）に保証料を支払い、保証を依頼する制度です。機関保証制度を選択した場合は、「本人以外の連絡先」の登録は必要ですが、保証人を立てる必要はありません。

人的保証にする場合、必ず連帯保証人・保証人の条件を確認し、本人に承諾を得ましょう。承諾を得ていなかったり、条件に合致しない保証人を選定したりすると、別の方を選定し直しとなります。条件に合う方が見つからない場合は、採用後に必要な書類が揃わないことで「採用取消」になります…。



機関保証を選べば、奨学金から保証料は引かれるものの、保証人を立てる必要はありません。採用後の手続きは機関保証を選んだ場合の方が必要書類は少ないです。